

## 駅伝

皆さん、おはようございます。

「日本で生まれたスポーツを挙げてください」と言われたら、皆さんはどんなスポーツを思い出しますか。

このスポーツも日本で生まれ、今や世界中で行われるようになってきています。

名前は、「駅伝」です。英語では、「ロードリレー」とか、「**Ekiden**」と呼ばれています。

駅伝は、いろいろな駅伝がありますが、皆さんはどんな駅伝を知っていますか。お正月には、有名な箱根駅伝がありましたね。今年総合優勝した早稲田大学には、長野県の佐久長聖高校出身の選手が3名もいました。見た人も多いと思います。

また、昨年、全校の皆さんの中に参加した人もいますが、辰野町には「ほたる駅伝」があります。

駅伝と言えなくてはならないものが、「たすき」です。駅伝で必ず使う「たすき」ですが、両小野中学には駅伝チームがないようですので、辰野中学から借りてきました。これが、「たすき」です。

こうやって「たすき」を掛けて、何人かで「たすき」を繋いで走るんですね。かっこいいですね。

選手が掛けるこの「たすき」ですが、どんな意味があると思いますか。

一つは、選手みんなで繋いで走るの、チームとしてのシンボルになりますね。「たすき」の中には、チームや学校のこれまでの歴史や伝統が入っていると思います。

もう一つは、「どんなことがあっても、頑張ろうね」「優勝しよう」「後を頼む」と言うように、選手の人たちは、自分の思いや願いを「たすき」に託してチームメイトに繋げるので、選手の「心」そのものだと思います。

駅伝競技が私たちにたくさんの感動を与えてくれるのは、この一本の「たすき」を中心に、選手あるいは、選手を支えるチームメイトが一つになる姿が見られるからだと思います。

さて、この駅伝、学校に置き換えて考えることもできると思います。

学校は、今、まさに、6年生から5年生に、5年生から4年生にと言うように、いろいろなことやものが引き継がれていく時期です。

特に、6年生から5年生には、児童会が引き継がれます。

今年の児童会は、A会長を中心に、全校が楽しくみんなで仲良くできる活動を進めてくれました。今度は、5年生のT会長を中心に、5年生に児童会という「たすき」が引き継がれる時を迎えました。

昨日、配られました今年度最後の児童会新聞には、今年度の役員の皆さんの言葉と新役員の皆さんの言葉が載っていました。

A会長さんは「…略」 I副会長さんは「…略」と書いてありました。また、T新会長さんは「…略」と、O新副会長さんは「…略」と書いてありました。素晴らしいですね。

この児童会ですが、正式には 24 日に「たすき」が、渡されるようですね。（\*紙面の関係で言葉は省略）

さて、それ以外の学年の皆さんも、教室を引き継いだり、掃除場所を引き継いだり、中には、地区の役員を引き継ぐ人もいるかと思います。しっかり、気持ちも込めて、それぞれの「たすき」を次の人や学年に引き継いでください。

最後に、こんな言葉を紹介します。『有終の美』を飾る」という言葉です。一人一人に残された今年度は、あと一月です。しっかり最後のまとめをして、どの人も、「有終の美」を飾ってください。

